

令和 8 年度安全計画

1、安全点検

(1) 施設・設備の安全点検

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点点検箇所	・安全計画の確認	・園外保育先(遠足等)の安全確認	・冷房設備の点検	・避難リュックの点検	・業者による消防設備の点検	・発電機の点検
	・避難時の役割分担、避難場所の確認	・園庭の点検・水遊び用品の点検	・水遊び時の安全点検			・備蓄品の点検
	・消火器の場所の確認	・害虫による被害対策				
	・緊急連絡先の確認	(ケムシ、ハチ、アリ等の駆除)				
	・避難リュックの点検					
	・園外保育(散歩経路の危険個所の確認)					
	・施設の安全点検					
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点点検箇所	・暖房設備の点検		・発表会、クリスマス用品の点検	・避難リュックの点検	・業者による消防設備の点検	・安全計画の振り返り、見直し
	・加湿器の点検準備		・除雪用品の点検			・散歩車の点検
	・避難リュックの点検	・園外の雪の点検(屋根の雪、歩道の融雪)				・次年度に向けての避難リュックの点検
	・運動会用品の点検					
	・害虫による被害対策(アリ等の駆除)					
	・園外保育(散歩経路の危険個所の確認)					
	・施設内の安全点検					

(2) マニュアルの策定・共有

分野	策定期期	見直し（再確認）予定時期	掲示・管理場所
感染症予防対応マニュアル	令和５年５月改訂	令和８年９月	事務室
事故防止予防対応マニュアル（午睡・誤嚥・水遊び・アレルギー）	上に同じ	令和８年６月	事務所と各クラス
アレルギー対応マニュアル	令和５年８月改訂	令和８年９月	事務所
プール・水遊び対応マニュアル	令和６年７月改訂	令和８年７月	事務所と各クラス
散歩（園外活動）マニュアル	令和６年９月改訂	令和８年５月	事務所
バス昇降安全マニュアル	令和６年１０月策定	年度末	事務所
災害時対応マニュアル	令和７年５月改訂	令和８年４月	事務所と各クラス
熱中症予防対策マニュアル	令和７年７月策定	令和８年８月	事務所
不審者対応マニュアル	令和５年８月改訂	令和８年度１１月	事務所
熊出没時の危機管理マニュアル	令和８年１０月策定予定	令和９年３月	事務所

2、園児・保護者に対する安全指導等

(1) 園児への安全指導

	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
	・玩具等の誤嚥対策、遊具の安全な使用方法 ・散歩時の安全指導 ・災害時の避難の仕方	・熱中症対策の安全指導 ・水遊び時の安全指導	・降雪時の安全指導 ・雪遊び時の安全指導	
以上児	・安全に遊ぶためのルールを知る ・遊具、玩具の安全な使用方法 ・散歩時の安全指導 ・災害時の避難の仕方 ・バス昇降時の安全指導 ・交通安全教室に参加	・熱中症対策の安全指導 ・水遊び時の安全指導	・降雪時の安全指導 ・雪遊び時の安全指導	

(2) 保護者への周知・共有

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
内容	・感染症発生時のお知らせ ・アレルギー疾患生活管理表の提出 ・園の施設による安全利用に関する掲示 ・緊急時の連絡先の更新 ・健康診断・歯科健診の結果の通知 ・安全計画の周知 ・入所前面談による安全指導 ・おたよりによる交通安全の啓発	・熱中症対策の周知 ・水遊び時の体調チェックについてのお願い	・大雪による災害時についての注意事項等周知 ・おたよりなどによる災害時の引き渡し方法の周知 ・健康診断の結果の通知	・新年度に向け、アレルギー、熱性けいれん等の既往の確認

3、訓練・研修（避難訓練）

（１）避難訓練等

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
訓練種	災害の啓蒙	地震	火災	不審者	風水害（引き渡し訓練）	総合訓練【火災】
想定	非常時のサイレンを鳴らす	震度4以上	給食室から出火	不審者が来て窓を開けようとする	停電し水道が使えなくなる	給食室からの火災
避難場所	以上児ホール	園庭 （雨天時ベランダ）	裏の公園（雨天時 もも組の部屋）	以上児ホール	以上児ホール	園庭
ねらい	・非常時のサイレンを知る ・避難訓練の大切さや取り組み方を知る	・地震発生時の避難方法について知る ・防災頭巾のかぶり方を知る	・火災発生時の避難方法について知る	・身を守る避難方法について知る	・保護者への引き渡しと風水害時の避難の仕方を知る	・総合訓練を実施し、消防署の指導を受ける【通報・避難・消火訓練】
訓練内容	・非常時のサイレンが鳴ったら、保育士の側に集まる	・サイレンで地震を知り保育者の所へ集まる ・防災頭巾をかぶる ・避難指示を聞いたら窓や戸を開放して園庭に避難する	・サイレンで火災を知り保育者の所へ集まる ・保育者の指示により口をふさぎ、低姿勢で園庭へ避難する ・人数確認後、2次避難場所（裏の公園）へ避難する	・不審者を知らせる合言葉聞いたら、子どもたちを集め、保育室には鍵をかけて待機する ・避難指示を聞いたら以上児ホールへ避難する	・サイレン等で災害を知り保育者の所へ集まり、以上児ホールへ避難する ・台風や集中豪雨、雷等の話を聞き、停電や断水についても知らせる ・非常食のおやつと水を飲食し、保護者のお迎えを待つ	・園児の避難訓練、職員との通報、消火訓練を行う ・消防署員の指導・評価を受ける
その他留意事項	・職員の任務分担の確認 ・避難経路の確認 ・人数確認を行う ・消火器、消防設備の確認	・避難靴、避難車の準備 ・防災頭巾の着用	・窓や入口を閉める ・人数確認を速やかに ・園以外の場所への避難方法も知る	・「いかのおすし」 ・各保育室の施錠や消灯、カーテンを閉める ・役割分担と動線の確認	・保護者への引き渡しの際はコドモンアプリを使い保護者への確実な引き渡しを行う。アプリがない保護者には、用紙に名前を記入してもらう	・窓や戸を閉めた状態で避難する ・保育士自身避難訓練のマニュアルを確認して訓練に臨む

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訓練種	火災	地震	熊対応	地震	火災	まとめ
想定	調乳室から出火	午睡時	熊が玄関から入って来ようとする	おやつ時	電気火災	
避難場所	駐車場 (雨天時以上児ホール)	未満児ホール	き組・みどり組	各ホール	以上児ホール	以上児ホール
ねらい	・いろいろな火災があることを知る	・午睡時の避難方法について知る	・身を守る避難方法について知る	・落下物から身を守る	・いろいろな火災があることを知る	・1年間通して行ってきたまとめをする
訓練内容	・サイレンで火災を知り保育者の所へ集まる ・保育者の指示により口をふさぎ、低姿勢で駐車場へ避難する ・人数確認後、2次避難場所（裏の公園）へ避難する	・サイレンで地震を知り、保育者の所へ集まる ・午睡時の為、そのまま部屋に避難する ・保護者に向けて、緊急時の連絡訓練を行う（コドモン）	・熊が来ていることを聞いたら、保育者の所に集まり、保育室には鍵をかけて待機する ・避難指示を聞いたらき組・みどり組へ避難する	・安全な場所やテーブルの下に隠れる ・保育者の指示により保育者の所へ集まる	・漏電等の話をし、危険な遊びやいたずらをしないように約束をする	・避難訓練の意義や大切さを実技を交えたり、クイズ形式などで再確認できるようにする
その他留意事項	・避難経路の確認 ・慌てて外へ飛び出さないように注意を払う ・窓や戸を閉めた状態で避難する	・「おかしもち」 ・布団の適用 ・保護者へ地震で被害を受けたことをアプリで伝える	・安全に避難できる環境を整え、子どもに不安感を与えないようにする	・ダンゴムシのポーズ ・ドアや窓を開け、避難経路の確保をする	・電気器具類、周辺の安全確認	・年間の訓練を振り返る

※ 赤字の箇所(8月:引き渡し訓練、10月:緊急時の連絡訓練)につきましては、保護者の皆様からのご協力をお願いいたします。
詳細は後日お知らせいたします。

(2) 訓練の参加予定者

訓練内容	実施予定時期	参加予定者
消火訓練	毎月	各月ごとの担当者
通報訓練	9月	全員参加
救急対応講習	8月	園長、主任、副主任、副主任補佐、保育士2名

(3) 職員への研修・講習（外部実施を明記）

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
感染症対応（嘔吐物処理）、散歩マニュアルの確認、事故防止・予防対応マニュアル（事故発生時の対応）	熱中症対策、救命・救急講習受講 水遊び・プール活動時のマニュアル確認、アレルギー対応マニュアルの確認	災害時の対応、ヒヤリハット確認、熊対策の研修	防火管理者講習の受講（外部実施）

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール

総合訓練、通報訓練、消火訓練（9月）

◎再発防止策の徹底（ヒヤリハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

- ・ヒヤリハットの事例を記録に残すとともに、職員全体で共有できるように、ボードに貼り付け対策ができるようにする。
- ・前月のヒヤリハットの案件を分析し、職員全体で検討する。また、必要に応じて重点点検箇所等に取り入れる。

◎その他の安全確保に向けた取り組み（地域住民や地域の関係者と連携した取り組み、登降園管理システムを活用した安全管理等）

- ・コドモンを利用した、引き渡し訓練や、情報共有をする。